

環境分野におけるこれまでの取組と今後の対応方針

生活再建：ペットに関して避難所、一時預かり及び仮設住宅での対策

・被災により、ペットの飼養が困難となる被災者や飼い主とはぐれてしまうペット等が発生

- ・トレーラーハウスを設置し、避難所でのペットの飼養スペース確保
- ・獣医師会等と連携して、被災者のペットの一時預かりの実施
- ・飼い主とはぐれてしまったペットの保護・返還等
- ・石川県を通じて、市町に対し仮設住宅でのペット受入れについて働きかけを行い、石川県内の**全市町において仮設住宅へのペット連れ入居可能な運用を実現**



珠洲市に設置したトレーラーハウス



動物病院でのペットの一時預かり

公費解体：解体総数、災害廃棄物処理体制

公費解体申請棟数：38,352棟
※令和7年3月24日時点石川県発表

【市町ごと】

珠洲市：7,737棟、輪島市：11,295棟、
能登町：3,673棟、穴水町：2,757棟、
七尾市：5,185棟、志賀町：4,246棟、
6市町以外：3,459棟



石川県穴水町 民家の被害



石川県輪島市 輪島朝市

令和6年12月末の中間目標(約12,000棟解体)を達成し、令和7年**2月末までの累計目標を上回るペースで公費解体が進展**
(解体完了棟数(累計)：21,777棟(3月24日現在))

【主な取組状況】

- ✓ 申請書類の合理化に関するマニュアル等の策定・改訂
- ✓ 法務省と連携し、建物性が失われた家屋等は関係者全員の同意取得を不要とするともに、法務局による職権滅失登記や土地家屋調査士の協力等により、申請手続を簡素化
- ✓ 仮置場の追加確保
- ✓ 道路、鉄道及び海上輸送により県外への広域処理体制を強化



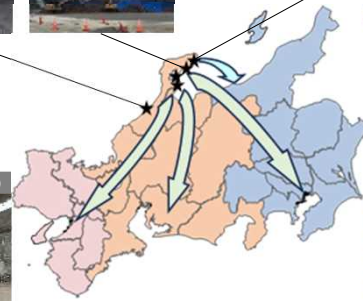
2月27日

石川県輪島市 輪島朝市

令和7年10月までの原則解体完了、同年度末までの災害廃棄物処理完了を目指し、解体・撤去を推進



広域処理(福井県)



大型車両(連結トレーラー)
#920m

インフラ等：浄化槽

- ・公共浄化槽は約1,500基が被災。このうち約500基は、公費解体による撤去等のため住民の復旧意向が無い事案。
- ・個人設置型浄化槽は約3,000基が被災。この中にも、住民の復旧意向が無いケースが相当数存在。



地震により浮き上がった浄化槽(画像は七尾市内の例)

- ・公共浄化槽は、市町が住民の復旧意向を確認できたものから順次復旧工事を発注。これまで約1,000基のうち**約800基を復旧完了し、残りの約200基もほぼ復旧工事を発注済み**。
- ・個人設置型浄化槽は、市町において約900基の復旧補助申請(住民が申請主体)を受付し、うち**約500基が復旧完了、残りの約400基も復旧工事着手済み**。

【主な取組】

- ・浄化槽復旧費用に対して補助を実施
- ・県・業界団体と連携し工事業者を確保。住民アンケートを通じた工事業者とのマッチングを実施
- ・コールセンターを設置して復旧工事や補助申請に係る問い合わせ等に丁寧に対応

- ・公共浄化槽は、**復旧意向がある住民の復旧工事は概ね完了**。引き続き、各市町の進捗把握と財政支援を行い、復旧工事を推進。

- ・個人設置型浄化槽は、引き続き、住民へのフォローアップや希望者への工事業者のマッチングを実施し、**住民ニーズを踏まえ順次対応**※。

※補助申請から復旧工事完了までの標準的な所要期間は1ヶ月程度